

# 道徳通信

野々市市立野々市中学校 令和元年 7月12日(金) NO. 2



早いもので、7月もあっという間に2週間が過ぎ、1学期も残すところ、あと1週間です。今学期を振り返ってみて、どうだったでしょうか。「道徳」の時間を通して、新しい気づきや感動、心の成長などはあったでしょうか。

いよいよ夏休みが始まります。勉強に部活動にと忙しい毎日になるかと思いますが、一人一人が自分自身の目標を持ち、充実した夏休みを過ごして下さい。



## ～1年生の授業から～

1年生では、5月半ばにピュアキッズスクールを行いました。白山警察署から警察職員の方を講師としてお招きし、実際にあった中学校でのいじめについて考えました。その後もう一度道徳で「いじめ」に関する授業をしました。いじめに当たるのはどれかを考え、いじめを見逃さない雰囲気を作っていくことが大切と学びました。また、人にはそれぞれ個性があり、よりよい人間関係を築くためには何を大切に生活していけばいいのかを考えました。

## 授業の感想

みんなで注意すれば誰かひとりがいじめられることはないと思うし、勇気がでなかったら先生や親などまわりの大人に相談すればいい。

いじられていることに気づいたり何かおかしいなと思ったら見るだけじゃなくて、自分で行動をすることが大切だと思いました。

いじめがおきそうだったらすぐに止めることが大切で、先生や周りの人に助けを求めればいいのかと思う。いじめられている子の心の支えになれるようにすればいいと思う。

傍観者を作らないように普段からいろいろな人と話せるようにする。積極的に自分から関わっていく。

傍観者が勇気をもって一言かけることが必要。いじめられている人の気持ちになってどんなことをしたら救えるのか考えて行動する。

1%でも相手が嫌な思いをしていたらいじめになってしまうと思った。

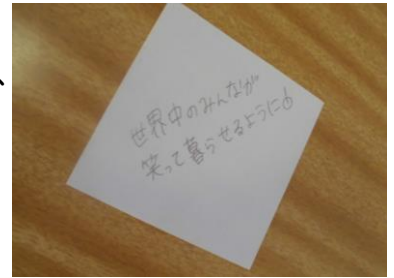
誰かがいじめられているとき止めたいけど怖くて何もできなかったことがあった。そういうときは大人にすぐに言おうと思った。



## 考えてみよう！

今月、全学年で「平和への願い」を込めて折り鶴を作成しました。毎年夏休み中に、生徒会役員が広島  
の地へ持っていきます。そして、全校生徒を代表して8月6日(火)に行われる広島の平和記念式典に参加  
します。

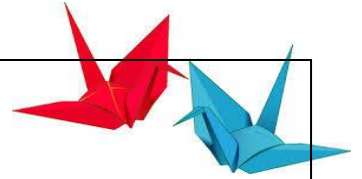
終戦から74年。薄れゆく記憶の中で、折に触れて昔の出来事を思い出し、  
「今」という時代を見つめ直すことは大切なことです。「今」を生きる自分  
たちに出来ることは何か、「平和」とは何か、ぜひ考えてみてください。



## 2年生では、折り鶴を作成する前に、今年度の 沖縄全戦没者追悼式で朗読された「平和の詩」を各クラスで読みま した。

平和の詩「本当の幸せ」

糸満市立兼城小学校6年 山内玲奈



青くきれいな海  
この海は どんな景色を見たのだろうか  
爆弾が何発も打ち込まれ  
ほのおで包まれた町  
そんな沖縄を見たのではないだろうか

語り継いでいくことは  
今に生きる私たちの使命だ  
二度と悲しい涙を流さないために  
この島が この国が この世界が  
幸せであるように

緑あふれる大地  
この大地は どんな声を聞いたのだろうか  
けたたましい爆音 泣き叫ぶ幼子  
兵士の声や銃声が入り乱れた戦場  
そんな沖縄を聞いたのだろうか

お金持ちになることや 有名になることが  
幸せではない  
家族と友達と笑い合える毎日こそが  
本当の幸せだ  
未来に夢を持つことこそが  
最高の幸せだ

青く澄みわたる空  
この空は どんなことを思ったのだろうか  
緑が消え 町が消え 希望の光を失った島  
体が震え 心も震えた  
いくつもの尊い命が奪われたことを知り  
そんな沖縄に涙したのだろうか

「命どう宝」  
生きているから笑い合える  
生きているから未来がある

平成時代

私はこの世に生まれた  
青くきれいな海 緑あふれる大地  
青く澄みわたる空しか知らない私  
海や大地や空が七十四年前  
何を見て 何を聞き 何を思ったのか  
知らない世代が増えている  
体験したことはなくとも 戦争の悲さんさを  
決して繰り返してはいけないことを

令和時代

明日への希望を願う新しい時代が始まった  
この幸せをいつまでも

(「琉球新報」Web News より)

